

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和3年度)

2. 分野別状況(1)国際戦略総合特区

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
グリーンアジア国際戦略総合特区 (福岡県、北九州市、福岡市)	4	3.5 進捗度 ・当地域が貢献する環境を軸とした産業の年間売上高76% ・特区に係る支援措置を活用して設備投資を行った企業数88%	4.5 規制の特例等 ・圧縮水素運送自動車複合容器・附属品に対する刻印方式の特例の創設等 財政支援等 ・総合特区推進調整費 ・総合特区設備等投資促進税制等 地域独自の取組 ・福岡県北部九州自動車産業アジア先進生産拠点推進事業等	4	・コロナ禍の影響を直接受けたものと考えられるが、その割には頑張ったのではないかと評価される。環境配慮型自動車など半導体環境が好転すればより伸びが大きいと思われる。 コロナ禍の事業環境の厳しい中で、財政。金融制度へ積極的な取り組みが高く評価される。 ・コロナ禍にもかかわらず良好な実績を上げていると思われる。 ・外的要因(COVID、半導体不足など)による進捗率の若干の低下が認められるが、全体的な進捗は良好と考えられる。水素エネルギー事業の普及を期待する。